

COMMONSPIRIT HEALTH 政府政策

件名：金融支援

発効日：
2021年7月1日

政策番号：財政 G-003

最初の発効日：
2021年7月1日

方針

内国歳入庁(IRC)セクション 501(r)に従い、非課税を維持するために、CommonSpirit Health の各病院組織は、病院施設で提供されるすべての緊急医療および医学的に必要なケア（以下、EMCare と呼ぶ）に適用される、書面による財政援助方針(FAP)および緊急医療ポリシーを確立する必要があります。このポリシーの目的は、病院施設が患者さんに経済的支援を提供する際の条件を説明することです。また、本ポリシーでは、患者様のアカウントの支払いが滞った場合に病院施設が取るべき行動についても説明しています。

規模

このポリシーは、病院施設を運営する CommonSpirit とその非課税の直接関連会社⁴⁷および非課税の子会社⁴⁸（以下、個々に CommonSpirit 病院機構といい、総称して CommonSpirit 病院機構といいます）に適用されます。CommonSpirit の方針は、CommonSpirit の病院施設において、患者の経済的支払能力に関わらず、すべての患者に差別なく EMCare を提供することです。

原則

CommonSpirit 病院機構は、カトリックの医療機関として、また免税団体として経済的な支払い能力に関わらず、患者さんや治療を求める人々のニーズに応えることが求められています。

⁴⁷ 直接的な関連会社とは、CommonSpirit Health が唯一の法人会員または唯一の株主である法人、およびコロラド州の非営利法人であるディグニティ・コミュニティ・ケア社を指します。

⁴⁸ 子会社とは、非営利・営利を問わず、「直接の関係者」が運営組織の議決権の 50%以上を占める権限を有しているか、または 50%以上の議決権を有している組織（「直接の関係者」に一定の意思決定権を与える会員権や証券によって証明される）、または「子会社」がそのような権限や議決権を有している組織を指します。

以下の原則は、思いやりのある高品質で手頃な価格のヘルスケアサービスを提供し、貧しい人々や弱い立場にある人々を擁護するという CommonSpirit の使命と一致しています。医療サービスを必要とする人々の経済的能力によって、医療を求めたり受けたりすることが妨げられないようになりますが、CommonSpirit 病院機構の願いです。

CommonSpirit 病院機構は、CommonSpirit の病院施設において、経済的支援や政府支援を受ける資格の有無にかかわらず、緊急医療を差別なく提供します。

CommonSpirit 病院機構は、保険に加入していない人、一部保険に加入していない人、政府のプログラムに参加していない人、またはその他の理由で支払いができない人に、CommonSpirit 病院機構で提供される緊急ではない医療上必要なケアに対して、経済的支援を提供することに専念しています。

申請

A. このポリシーは以下に適用されます。

- CommonSpirit 病院機構が病院施設内で提供する EMCare のすべての料金。
- CommonSpirit 病院機構に雇用されている医師または上級臨床医が提供する EMCARE が病院施設内で提供された場合のすべての料金。
- 実質的な関連団体に雇用されている医師または上級臨床医が病院施設内で提供する EMCare のすべての料金。
- 患者が料金を負担することになる場合に患者に提供される、保険適用外の医療上必要なケア。例えば、滞在期間の制限を超えた日数分の料金や、患者の給付金が使い果たされた状況での料金などが該当します。
- なお回収活動は、CommonSpirit 政府の財政ポリシー G-004, 請求と回収に基づいて行われるものとします。

B. 他の法律との調整

資金援助の提供は、連邦法、州法または地方法に基づく追加の法律または規制の対象となる場合があります。そのような法律は、本ポリシーよりも厳しい要件を課している範囲内で適用されます。後に採用された州法又は地方法が本ポリシーと直接競合する場合、CommonSpirit 病院組織は、現地の CommonSpirit • リーガルチームの代表者、CommonSpirit • レベニューサイクルのリーダー、及び CommonSpirit • タックスのリーダーと協議の上、次のポリシー見直しサイクルまでに、適用される法律に準拠するために必要な本ポリシーへの最小限の変更を加えた本ポリシーの補遺を採用することが認められるものとします。

定義

一般請求額 (AGB) とは、この財政支援ポリシーの下で財政支援を受ける資格のある患者が、すべての控除や割引（このポリシーの下で利用可能な割引を含む）が適用された後、保険会社から償還された金額を差し引いて、個人的に支払う責任のある最大の料金を意味します。財政支援の対象となる患者は、患者に提供される EMCare の AGB を超えて請求されることはありません。CommonSpirit は、「ルックバック」方式を用いて施設ごとに AGB を算出しています。これは、CommonSpirit が提供する EMCare の「総料金」に、連邦法に定められた Medicare および民間保険の下で認められた過去の請求に基づく AGB パーセンテージを乗じるもので、ここで言及する「総料金」とは、各 EMCare サービスに対する各病院施設の料金表に記載された金額を意味します。

申請期間とは、経済的支援申請を完了するために CommonSpirit 病院機構が患者に提供する期間を意味します。この期間は、(i)患者の病院施設からの退院日または患者の EMCare の日付から 365 日、または(ii)病院施設で受けた EMCare の退院後の最初の請求書の日付から 240 日、のいずれか遅い方に失効します。

CommonSpirit 事業体 サービスエリア とは、本ポリシーの目的上、IRC セクション 501(r)(3)に記載されているように、病院施設が直近の地域健康ニーズ調査に記載されている、病院施設が提供するコミュニティを意味します。

IRC セクション 501(r)(1)(A)に基づき、病院施設は少なくとも 3 年に一度、地域医療ニーズ調査(CHNA)を実施し、CommonSpirit の各病院組織は CHNA で特定された地域医療ニーズを満たすための戦略を採用します。

適格性の判断期間 - 病院施設は、経済的支援の適格性を判断するために、最近の給与明細書や所得税申告書などで示される前 6 ヶ月間または前税年度の年間家族所得を確認します。収入を証明するには、現在の収入率を考慮して、直近の家族収入を年率換算することができます。

資格認定期間 - 財政援助申請書および補助書類を提出した後、資格認定された患者は、決定日から 12 ヶ月前に受けたサービスに対して発生したすべての適格勘定に対して財政援助を受けることができます。推定適格基準に基づいて適格性が承認された場合、決定日から 12 ヶ月前に受けたサービスに対して発生したすべての適格アカウントにも経済的支援が適用されます。

緊急 Medical Care、EMTALA - 病院施設において、社会保障法第 1867 条(42 U.S.C.1395dd)に規定される緊急医療状態の治療を求める患者は、治療費の支払い能力に関係なく、差別なく治療を受けるものとします。さらに、治療前に支払いを要求したり、EMCare の提供を妨げるような債権回収および回収活動を許可するなど、患者が EMCare を求める意欲を失わせるような行為は禁止されています。また、病院施設は、連邦緊急医療処置労働法(EMTALA)に基づくスクリーニング、治療、移送の要件、および 42 CFR 482.55 (またはそれに代わる規制) を含む、緊急医療状態に関するケアを提供するためのすべての連邦および州の要件に準拠して運営されなければなりません。病院施設は、何が緊急医療状態を構成するか、またそれに関連して従うべきプロセスを決定する際に、CommonSpirit の EMTALA

ポリシー、EMTALA 規制、および適用される Medicare/Medicaid 参加条件を参照し、これに従わなければなりません。

臨時徵収の実施(ECA) - 病院施設は、本ポリシーに基づいて適格性を判断するための合理的な努力を行う前に、個人に対して ECA を行わないものとします。ECA には、治療費の支払いを得るために行われる以下のような行為が含まれます。

- 連邦法で明示的に規定されている場合を除き、個人の債務を他者に売却すること、および
- 個人に関する不利な情報を消費者信用情報機関に報告すること。

ECA には、病院施設がケアを提供した人身事故の結果として個人（またはその代理人）に支払われる判決または和解金の収益に対して、病院施設が州法に基づいて主張する権利を有する先取特権は含まれません。

家族 とは、国勢調査局の定義によると、出生、婚姻、養子縁組などの関係にある 2 人以上の同居人のことを指します。内国歳入庁(IRS)の規則によると、患者が所得税申告書で誰かを扶養家族として主張している場合、その人は経済的支援の提供を目的とした扶養家族とみなされることがあります。IRS の納税証明書が入手できない場合、家族の人数は、経済支援申請書に記載され、病院施設が確認した扶養家族の人数によって決定されます。

世帯所得 は、IRS の定義する申請者および申請者の家族全員の修正調整後総所得に基づいて決定されます。CommonSpirit 病院機構は、資格を決定する際に、患者の家族の「金銭的資産」を考慮することができます。ただしこの決定には、金銭的資産には退職金や継延報酬制度は含まれません。

連邦貧困レベルガイドライン(FPL) は、米国保健社会福祉省(Department of Health and Human Services)が、米国コードのタイトル 42 のセクション 9902 のサブセクション(2)の権限に基づき、連邦官報で毎年更新しています。最新のガイドラインは、<http://aspe.hhs.gov/poverty-guidelines> を参照してください。

財政支援 とは、病院施設で提供される EMCare の予想される自己負担額を完全に支払うことが経済的に困難な患者で、そのようなアシスタンスの資格基準を満たす方に提供されるアシスタンスを意味します。財政支援は、保険会社との契約で認められている範囲内で、被保険者に提供されます。

保証人 とは、患者の請求額の支払いに法的責任を負う個人を意味します

病院施設(または施設) とは、CommonSpirit 病院機構によって運営されている、州から病院としての認可、登録、または同様の認識を求められている医療施設を指します。

医療上必要なケア とは、生命を危険にさらし、苦痛や痛みをもたらす状態、病気、傷害、疾患の予防、診断、修正、治癒、緩和、悪化の回避のために必要であると合理的に判断される処置を意味します（提供者による）。生命を危険にさらし、苦痛や痛みをもたらし、病気や

障害を引き起こしたり悪化させたりする恐れがあり、身体の変形や機能不全を引き起こし、または変形した身体の機能を改善するために、他に同等の効果があり、より保守的で費用のかからない治療方法がない場合に、必要と判断されたもの。医学的に必要な治療には、正常な、または正常に機能している身体の一部の美的外観を改善するためだけの選択的または美容的処置は含まれません。

病院施設の運営 -病院施設は、自社の従業員を使って、または他の組織に施設の運営を委託して運営されていると考えられます。また病院施設は、CommonSpirit 病院機構がパートナーシップとして課税されている事業体が州の認可を受けた病院施設を直接運営しているか、パートナーシップとして課税されている他の事業体を通じて州の認可を受けた病院施設を間接的に運営している場合には、CommonSpirit 病院機構によって運営されている可能性があります。

推定財政支援とは、財政支援の適格性を判断することを意味し、第三者の業者が提供する情報やその他の一般に入手可能な情報に依存することがあります。患者が経済的支援の対象者であると推定された場合、対象者が推定対象者である期間、EMCare が無料または割引で提供されます。

実質的な関連企業 とは、CommonSpirit の病院組織に関しては、連邦税務上パートナーシップとして扱われ、病院組織が資本金または利益を所有する事業体、または病院組織が唯一のメンバーまたはオーナーであるディスカード事業体で、州の認可を受けた病院施設で EMCare を提供する事業体を意味します（ただし、当該医療の提供が病院組織に関して IRC セクション 513 に記載されている無関係な事業またはビジネスである場合を除きます）。

保険未加入とは、商業的な第三者保険会社、ERISA プラン、連邦医療プログラム (Medicare、Medicaid、SCHIP、TRICARE を含むがこれらに限定されない)、労災補償、その他の支払い義務を果たすための第三者による支援を受けていない個人を意味します。

一部保険未加入とは、民間または公的な保険に加入している方で、この保険でカバーされる EMCare の予想される自己負担額を完全に支払うことが経済的に困難である方を意味します。

金融支援の資格

A. EMCare に利用できる経済的支援

財政援助を受ける資格のある患者は、無料または割引の EMCare を受けることができ、そのため EMCare の AGB 以上の金額を負担することはありません。財政的支援は、本書に記載された資格要件を満たし、最新の病院施設 CHNA で定義された CommonSpirit 事業体サービスエリア内に居住権を確立している患者に提供されるものとします。ただし、緊急・救急の場合、またはカリフォルニア州の病院施設内で発生した場合は除きます。アメリカ合衆国以外の国の居住者は、緊急性が高い場合を除き、病院施設の最高財務責任者（またはその被指名人）の事前承認なしには経済的支援を受けることはできません。CommonSpirit 事業体の

サービスエリア外に居住する患者に対するすべての予定されたサービスは、病院施設のチーフファイナンシャルオフィサー（またはその被指名人）の事前承認が必要です。注文者が病院施設でのサービスを要求した際に、同じサービスが患者の居住地に近く、CommonSpirit事業体サービスエリア外の別の施設でも提供されている場合、病院施設は注文者にサービスを再評価し、患者の居住地に近い場所でサービスを行うよう要求することができます。

B. EMCare 以外のケアには財政的支援は利用できません

EMCare 以外のケアには財政的支援は利用できません EMCare 以外の医療の場合、患者はその医療の正味料金（すべての控除と保険償還を適用した後の医療の総料金）以上の費用を負担することはありません。

C. 利用可能な資金援助の額

経済支援の対象となるのは、保険未加入者、一部保険未加入者、政府の医療給付制度に加入していない人で、治療費を支払うことができない人ですが、このポリシーに基づいて経済的な必要性を判断します。経済的支援の付与は、個別の経済的必要性の判断に基づくものとし、年齢、家系、性別、性同一性、性別表現、人種、肌の色、国籍、性的指向、婚姻状況、社会的地位または移民の地位、宗教的所属、または連邦法、州法、地方法で禁止されているその他の根拠など、いかなる潜在的な差別的要素も考慮してはなりません。

推定 財政支援の対象となる場合を除き、患者が財政支援の対象となるためには、以下の資格基準を満たす必要があります。

- 患者は、CommonSpirit 病院機構での最低口座残高が 10 ドルである必要があります。複数の口座残高を合算してこの金額に達することができます。残高が 10 ドル以下の患者／保証人は、財務カウンセラーに連絡して毎月の分割払いを手配することができます。
- 患者は、ここに記載されている「患者協力基準」を遵守しなければなりません。
- 患者は、必要事項を記入した経済支援申請書(FAA)を提出しなければなりません。

D. 慈善医療

- FPL の最大 200% – 家族所得が FPL の 200%以下 の患者（保険に加入していない、または保険に加入していない患者を含むがこれに限定されない）は、第三者による支払いがある場合はその支払い後に患者に提供された適格なサービスについて、口座残高から最大 100%の割引を受けることができる経済支援を受ける資格があります。
- FPL の 201%~400% – 家族所得が FPL の 201%以上 400%未満 の患者（保険に加入していない患者、保険に加入していない患者を含むがこれに限定されない）は、患者に提供された適格サービスのアカウント残高から、第三者による支払いがある場合には、病院施設の AGB を超えない金額まで、経済的支援を受けることができます。

E. 患者協力基準

患者は、病院施設が適格性を判断するために必要な情報や書類を提供することに協力しなければなりません。このような協力には、必要な申請書やフォームの記入も含まれます。患者は、適格性の評価に影響を与えるような経済状況の変化があった場合、病院施設に通知する責任を負うものとします。

患者は、承認を受ける前に、民間保険、連邦、州、地域の医療支援プログラム、および第三者が提供するその他の形態の支援を含む、他のすべての支払い方法を利用しなければなりません。財政援助の申請者は、利用可能な保険を公的プログラムに申請する責任があります。また、病院施設内の **CommonSpirit** 病院機構によって提供されるケアに対して、公的または私的な医療保険の支払い方法を追求することが求められます。

COBRA（従業員の医療給付を期限付きで延長することを認める連邦法）を含む、適用されるプログラムおよび特定可能な資金源の申請には、患者および該当する場合は保証人の協力が必要です。病院施設が **COBRA** 適用の可能性があり、患者が **Medicare** や **Medicaid** の受給者ではないと判断した場合、患者または保証人は病院施設に当該患者の月々の **COBRA** 保険料を決定するために必要な情報を提供し、病院施設の **COBRA** 保険料補助を受ける資格があるかどうかを判断するために病院施設のスタッフに協力しなければなりません（保険加入を支援するために期間限定で提供されることがあります）。病院施設は、患者または患者の保証人が公的および民間のプログラムに申し込むのを支援するために、積極的な努力をしなければならない。

F. 保険未加入者割引

保険契約でカバーされていないサービスや、雇用者が提供するプログラムや **Medicare**、**Medicaid** などの政府プログラム、その他の州や地方のプログラムを通じて、患者に提供される医療上必要な医療サービスの支払いに健康保険が適用されていないことを証明する患者／保証人は、保険未加入者割引の対象となります。この割引は、化粧品や医療上必要のない処置には適用されず、対象となるサービスにのみ適用されます。

各病院施設は、対象となる患者に適用される総料金からの割引額を計算して決定します。上記の財政援助は、この保険外患者割引に優先します。経済的支援を適用することにより患者の請求額がさらに減少すると判断された場合、病院施設は保険外患者割引を取り消し、経済的支援ポリシーに基づいて適用される調整を行います。

G. 自己負担分の割引

本ポリシーに記載されている経済支援割引の対象とならない保険未加入患者については、病院施設は **CommonSpirit** のレベニューサイクルのガイドラインと手順に従って、患者の請求書に自動（自己負担）割引を適用することができます。この自己負担分の割引は、手段を選ばないものです。

資金援助の申請方法

すべての患者は、推定財政支援の資格がある場合を除き、経済的支援を受けるために CommonSpirit FAA に記入する必要があります。FAA は、病院施設が経済的必要性を個別に評価するために使用します。

支援を受ける資格を得るために、患者が利用可能な資源（現金化可能なもので、患者の日常生活に必要なもの）を証明する銀行口座または当座預金口座の明細書を提出する必要があります。また、家族の収入を証明する最低 1 枚の補助書類を FAA と一緒に提出する必要があります。補足書類には以下のものが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

- 直近に提出した連邦所得税申告書のコピー。
- 現在のフォーム W-2。
- 現在の給与明細書
- 署名付きサポートレター。

病院施設は、自らの裁量により、FAA またはここに記載されている以外の資格の証拠に依拠することができます。その他の証拠資料には以下のものがあります。

- 患者／身元保証人の支払能力に関する情報を提供する外部の公開データソース。
- 過去に提供されたサービスに対する患者の未払い金および患者／保証人の支払履歴の確認。
- 本ポリシーに基づく患者または保証人の援助適格性に関する過去の判断（もしあれば）。
- 公共および民間の支払プログラムからの適切な代替支払源および補償を検討した結果として得られた証拠。

記入済みの FAA で収入が証明されない場合は、収入情報が得られない理由と、患者または保証人が基本的な生活費（住居費、食費、光熱費など）をどのように負担しているかを説明した書面が必要です。国民医療保険サービスコープ (NHSC) ローン返済プログラムに参加している財政支援申請者は、経費情報の提出が免除されます。

推定適格性

CommonSpirit の病院組織は、すべての患者および保証人が FAA を完了したり、必要な書類を提出できるわけではないことを認識しています。各病院施設には、申請支援を求める個人をサポートするためのファイナンシャル・カウンセラーがいます。必要な書類を提出できない患者および保証人に対しては、病院施設は他の情報源から得た情報に基づいて、推定的な財政援助を行うことができます。特に、以下のような個々の生活環境に基づいて、推定的な適格性が決定される場合があります。

- 州政府が提供する処方箋プログラムの受給者。
- ホームレスの方、またはホームレスクリニックやフリークリニックで治療を受けた方。
- 女性・乳児・児童プログラム(WIC)に参加している。
- フードスタンプの受給資格

- 他の州や地域の支援プログラム（Medicaid など）の資格または紹介者。
- 有効な住所として、低所得者向けの補助金付き住宅が提供されている場合。
- 患者は死亡しており、配偶者も財産も知られていない。

これらの情報は、病院施設が、患者から直接提供された情報がない場合でも、入手可能な最善の推定値を用いて、患者の経済的ニーズについて十分な情報に基づいた決定を行うことを可能にします。推定財政支援の資格があると判断された患者は、推定資格がある期間、EMCare を無料または割引価格で受けることができます。

医療保険が適用されない医療上必要なサービスを受けた Medicaid 患者は、推定財政支援の対象となります。財政援助は、Medicaid の発効日より前の場合に承認されることがあります。

推定的適格性があると判断された場合、患者は推定的適格性の判断日から 12 ヶ月間、経済的支援を受けることができます。その結果、経済的支援は、判定日から 12 カ月前に受けたサービスに対して発生したすべての適格勘定に適用されます。推定的適格者は、FAA の完了または推定的適格性の新たな決定がない限り、決定日以降に提供された EMCare に対して経済的支援を受けることはできません。

提供されたサービスに対して発生した未払いの口座残高に対して、合計 150 ドル以上の支払いを行った患者は、その口座に対して推定適格性を得ることはできません。病院施設の申請プロセスに応じられない患者またはその保証人については、他の情報源を用いて経済的必要性を個別に評価することができます。この情報により、病院施設は、患者から直接提供された情報がない場合でも、入手可能な最善の見積もりを利用して、無回答の患者の経済的必要性について十分な情報に基づいた判断を下すことができます。

経済的に困窮している患者を支援する目的で、病院施設は第三者を利用して患者または患者の保証人の情報を確認し、経済的困窮度を評価することができます。この審査では、医療業界で認められている、公的記録データベースに基づく予測モデルを利用します。このモデルは、社会経済的・経済的能力のスコアを計算するために、公的な記録データを組み込んでいます。このモデルのルールセットは、同じ基準に基づいて各患者を評価するように設計されており、病院施設による過去の経済的支援の承認に基づいて調整されています。これにより、病院施設は、ある患者が、従来の申請プロセスで過去に経済支援を受ける資格を得た他の患者と特徴的であるかどうかを評価することができます。

このモデルが利用される場合、他のすべての資格や支払い手段を使い果たした後、不良債権の割り当て前に展開されます。これにより病院施設は、ECA を追求する前に、すべての患者を経済的支援の対象としてスクリーニングすることができます。この審査で得られたデータは、本ポリシーに基づく経済的ニーズの十分な証明となります。

患者が推定適格性を満たしていない場合でも、患者は必要な情報を提供し、従来の FAA プロセスで検討することができます。

推定適格性が認められた患者アカウントは、過去にさかのぼってサービスを受けた日に限り、適格なサービスを無料または割引価格で受けることができます。この決定は、従来の申請プロセスで提供される無料または割引の状態を構成するものではありません。このアカウントは、本ポリシーに基づく経済的支援の対象として扱われます。このアカウントは、回収に回されることはなく、さらなる回収措置の対象となることもなく、病院施設の不良債権費用に含まれることもありません。この決定について、患者に通知することはありません。さらに、Medicare の貸倒金として請求された控除額および共済額は、チャリティケアの報告から除外されるものとします。

推定スクリーニングは、CommonSpirit の病院組織が経済的に困窮している患者を体系的に特定し、管理負担を軽減し、患者およびその保証人に経済的支援を提供することを可能にすることで、地域社会に利益をもたらすものであり、その中には FAA プロセスに応じなかつた者もいます。

資金援助に関する通知

CommonSpirit 病院機構による財政支援の利用可能性に関する通知は、以下を含むがこれに限定されない様々な手段で広められるものとする。

- 患者の請求書に目立つように通知を掲載すること。
- 緊急治療室、緊急ケアセンター、入院・登録部門、営業所、その他病院施設が選択する公共の場所に掲示された通知。
- 本ポリシーの概要を、補遺 A に記載された病院施設のウェブサイト、および病院施設が選択した地域内のその他の場所で公開すること。

患者は、病院施設の AGB 率および AGB 率の算出方法に関する追加情報を、補遺 A に記載されている病院施設のファイナンシャル・カウンセラーから得ることができます。

このような通知および概要情報には、連絡先の電話番号が含まれ、英語、スペイン語、および個々の病院施設がサービスを提供している人々が使用しているその他の主要言語で提供されるものとします。

経済的支援の患者の紹介は、医師、看護師、経済カウンセラー、ソーシャルワーカー、ケースマネージャー、チャプレン、宗教的スポンサーなど、CommonSpirit 病院機構の非医療スタッフまたは医療スタッフの誰もが行うことができます。援助の要請は、適用される個人情報保護法に従って、患者、患者のご家族、親しい友人、または同僚によってなされることができます。

CommonSpirit 病院機構は、EMCare に関連する請求について患者に経済的なカウンセリングを提供し、そのようなカウンセリングが可能であることを公表します。患者様または患者様の保証人は、経済的支援の利用可能性に関する相談を経済カウンセラーとの間で行う責任があります。

提供者リストは、2021年7月1日以前に、各CommonSpirit病院施設がウェブサイトで公開し、その後も経営陣が定期的（ただし四半期ごと以上）に更新します。

支払われない場合の措置

CommonSpirit 病院組織が各病院施設に関する不払いの場合に取るべき行動は、別のポリシーである **CommonSpirit 政府の財政ポリシー G-004**、請求と回収に記載されています。一般の方は、補遺 A に記載されている病院施設 患者アクセス/入院部門に連絡することにより、本ポリシーの無料コピーを入手することができます。

手順の適用

CommonSpirit レベニューサイクルリーダーシップは、本ポリシーの実施に責任を負います。

添付書類

財政援助申請書(FAA)

参考文書

CommonSpirit 政府の財政ポリシー G-004. 請求と回収

関連文書

CommonSpirit 政府補遺

財務 G-003A-1. 財政支援 - カリフォルニア

CommonSpirit 政府補遺

財務 G-003A-1. 財務支援 – オレゴン

CommonSpirit 政府補遺

財務 G-003A-1. 財務支援 - ワシントン

CommonSpirit 政府補遺の

財政 G-003A-A、病院施設の資金援助の連絡先に関する 補遺テンプレート

COMMONSPIRIT ヘルスボードにより承認されたものです。2021年3月17日

補遺 財務 G-003A-A

発効日：7/1/2021

件名:病院施設の財務支援に関する連絡先

Marian Regional Medical Center

CommonSpirit に基づき 政府の財政ポリシー G-003, 財政支援に基づき、 Marian Regional Medical Center の連絡先は以下の通りです。

- また、「財政支援ポリシー」、「財政支援申込書」、「請求と回収ポリシー」、「平易な言葉でまとめたもの」については、当病院施設のウェブサイトに掲載されています。
<https://www.dignityhealth.org/central-coast/locations/marianregional/patients-and-visitors/for-patients/billing-information/financial-assistance>
- プロバイダーリストは、以下のサイトでご覧いただけます。
<https://www.dignityhealth.org/central-coast/locations/marianregional/patients-and-visitors/for-patients/billing-information/financial-assistance>
- 患者さんは、病院施設の AGB パーセンテージおよび AGB パーセンテージの算出方法について、以下のファイナンシャル・カウンセラーから詳細な情報を得ることができます。
805-739-3541
- 経済的支援を受けることに関心がある、または経済的支援、申請手続き、請求および支払いプランのオプション、支払いが行われなかった場合の措置、およびアカウントに関して利用可能なその他の該当プログラムについて質問があるすべての患者／保証人は、以下の通りです。
 1. 病院施設に直接連絡してください。Financial Counselor Office
 2. 当院のファイナンシャルカウンセラーにお電話ください。805-739-3541
 3. 病院施設のホームページはこちらです。<https://www.dignityhealth.org/central-coast/locations/marianregional>
 4. 郵送でのお申し込みは Marian Regional Medical Center, PO Box 3008, Rancho Cordova, CA 95741-3008
- また、財政的支援を受けられなかった患者・身元保証人は、その決定に対して異議を申し立てることができます。紛争・異議申し立ては、Customer Service Mgr 888-488-7667 または財政アシスタントセンターに連絡してください。PO Box 3008, Rancho Cordova, CA 95741-3008

関連文書:

CommonSpirit 政府の財政ポリシー G-003, 財政支援

CommonSpirit 政府の財政ポリシー G-004, 請求と回収